

三重県内の道路交通量の推移（令和6年2月）

令和6年2月の主な県管理道路の交通量推移についてお知らせします。

○前月との比較

県内10地点のうち、
9地点で増加しました。最も増加したのは鈴鹿でした。
1地点で減少しました。減少したのは伊勢でした。

○前年との比較

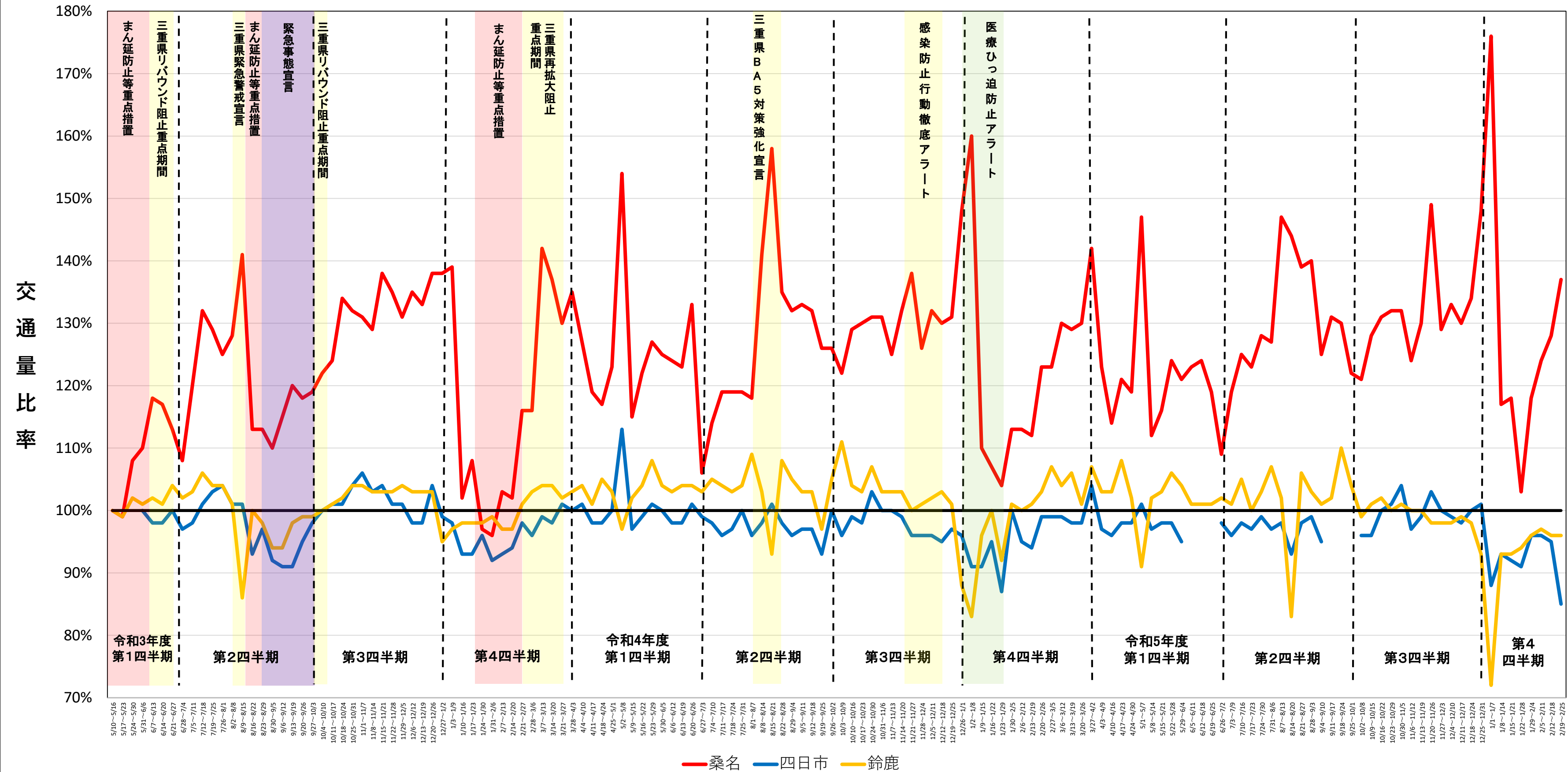
県内10地点のうち、
1地点で増加しました。増加したのは桑名でした。
7地点で減少しました。最も減少したのは鈴鹿でした。

<県管理道路> 全車種・全日

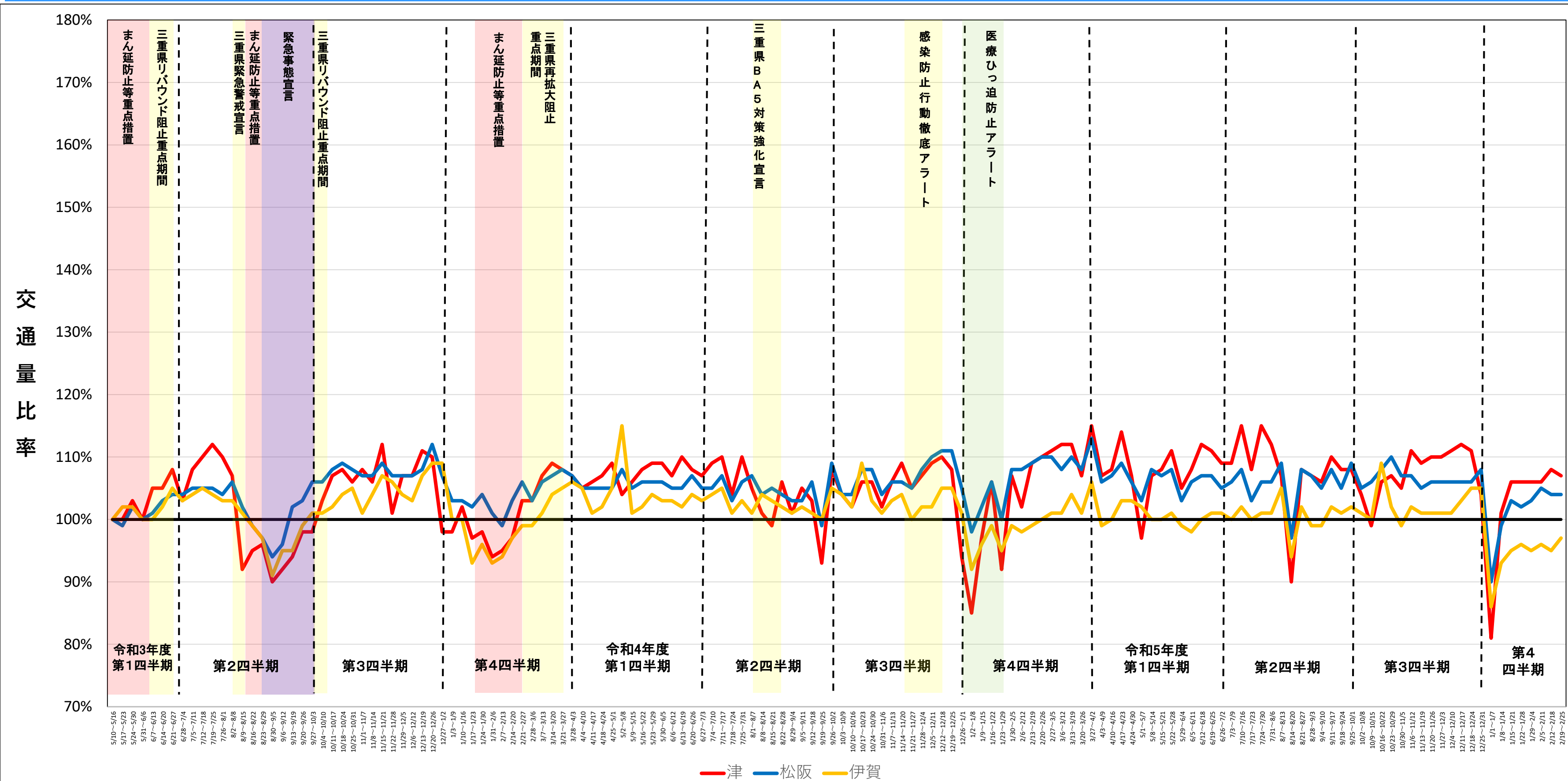
地域		設置箇所特性	前月比 (対 R6.1)	前年比 (対 R5.2)
北勢	桑名	観光地周辺	+1%	+11%
	四日市	観光地周辺	+2%	-4%
	鈴鹿	観光地周辺	+9%	-5%
中勢	津	I C周辺	+8%	±0%
	松阪	I C周辺	+6%	-4%
伊勢志摩	伊勢	観光地周辺	-3%	±0%
	志摩	観光地周辺	+8%	-3%
伊賀	伊賀	観光地周辺	+3%	-3%
東紀州	尾鷲	I C周辺	+2%	-3%
	熊野	広域防災拠点付近	+6%	-3%

※各月の平均に対する増減としています。

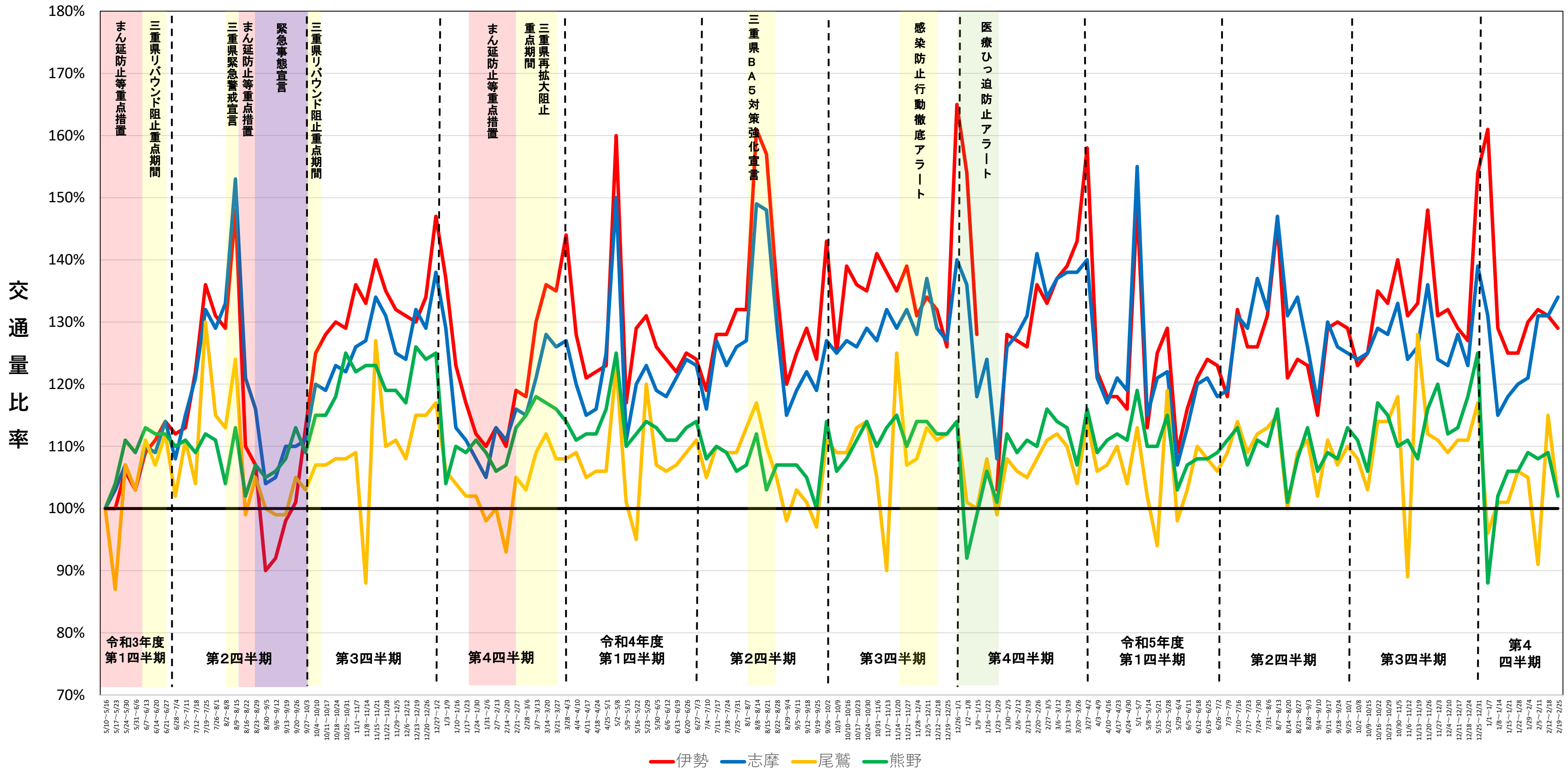
なお、交通量の欠測等の異常値を除いた値を使用しています。



※令和3年5月10日(月)～5月16日(日)の平均交通量を基準に交通量の増減を表示 ※交通量の欠測等の異常値を除いた値を使用しています



※令和3年5月10日(月)～5月16日(日)の平均交通量を基準に交通量の増減を表示 ※交通量の欠測等の異常値を除いた値を使用しています



※令和3年5月10日(月)~5月16日(日)の平均交通量を基準に交通量の増減を表示 ※交通量の欠測等の異常値を除いた値を使用しています
 ※熊野尾鷲道路(Ⅱ期)の開通前の尾鷲の交通量を補正しています